



ROIS-DS 成果報告会

データ駆動型研究の支援、これまでとこれから

2021年

2月5日 金

13:00~18:10

オンライン開催

第1部 基調講演・招待講演 (13:00~14:30)

- ・開会挨拶 (ROIS機構長)
- ・基調講演「ROIS-DSの設立趣旨と5年間の取組み」(DS施設長)
- ・招待講演:公募型共同研究成果報告(1)
「歴史的行政境界WebGISと利活用事例紹介」
情報通信研究機構 村田 健史(研究統括)
- ・招待講演:公募型共同研究成果報告(2)
「地理的加重モデルの開発と空間データ解析」
埼玉大学大学院理工学研究科 堤田 成政(准教授)

第2部 センター活動報告 (14:40~18:10)

- 「Museomics:遺伝子データと博物館データの融合に向けて」
- 「極域データの国際連携 ~データ共有・出版とシンポジウム開催~」
- 「統合データサイエンスプラットフォーム(AMIDERプロジェクト)」
- 「配合飼料価格安定制度における補填発動リスクの計量化」
- 「国際調査と紛争のデータを活用した社会分析」
- 「人文学資料マイクロコンテンツ化による情報学・人文学の共同研究」
- 「全ゲノムシーケンス解析による
キンギョの多様な表現型が出現する分子メカニズムの解明」
- 「余震誘発効果を考慮した繰り返し地震の予測」

ご予約
お問合せ

情報・システム研究機構
データサイエンス共同利用基盤施設(ROIS-DS)

<https://ds.rois.ac.jp/>

